

地 域 経 済 動 向

平成 18 年 2 月 27 日



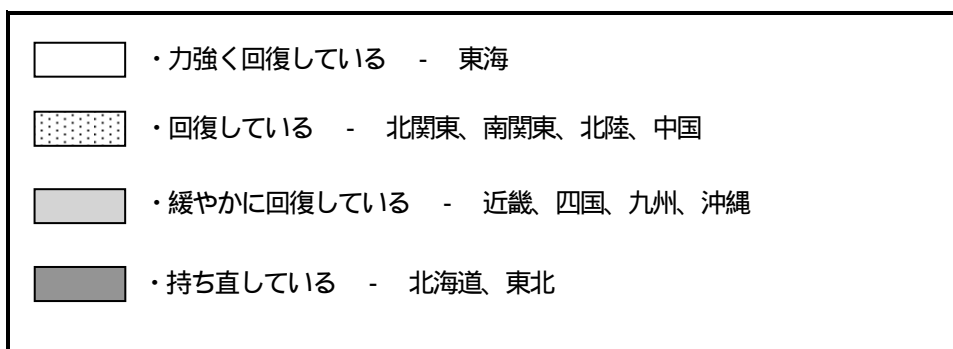
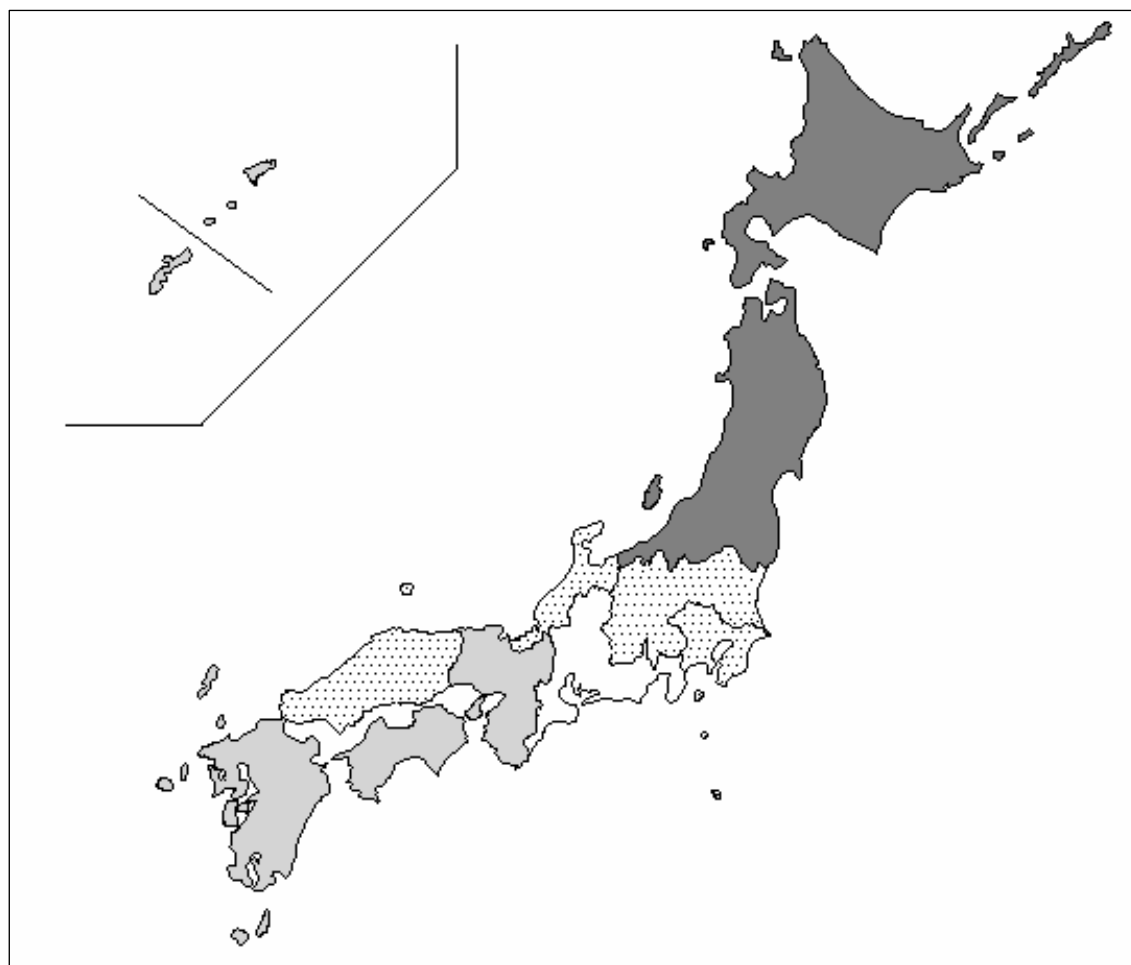
内閣府政策統括官室
(経済財政分析担当)

目 次

- 1 概況
- 2 トピック
- 3 地域別の動向
 - (1) 北海道
 - (2) 東北
 - (3) 北関東
 - (4) 南関東
 - (5) 東海
 - (6) 北陸
 - (7) 近畿
 - (8) 中国
 - (9) 四国
 - (10) 九州
 - (11) 沖縄
- 4 主要指標
- 5 参考資料

1 概況

(1) 各地域の景況判断



各地域の景況判断	北海道	東北	北関東	南関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
力強く回復している											
回復している											
緩やかに回復している											
持ち直している (回復の動きに一服感がみられる 弱いながらも回復の動きがみられる)											
やや弱含んでいる											

(備考) は、今回調査の判断。 は、前回調査の判断。

今回調査（平成18年2月）の前回調査（平成17年11月）との比較

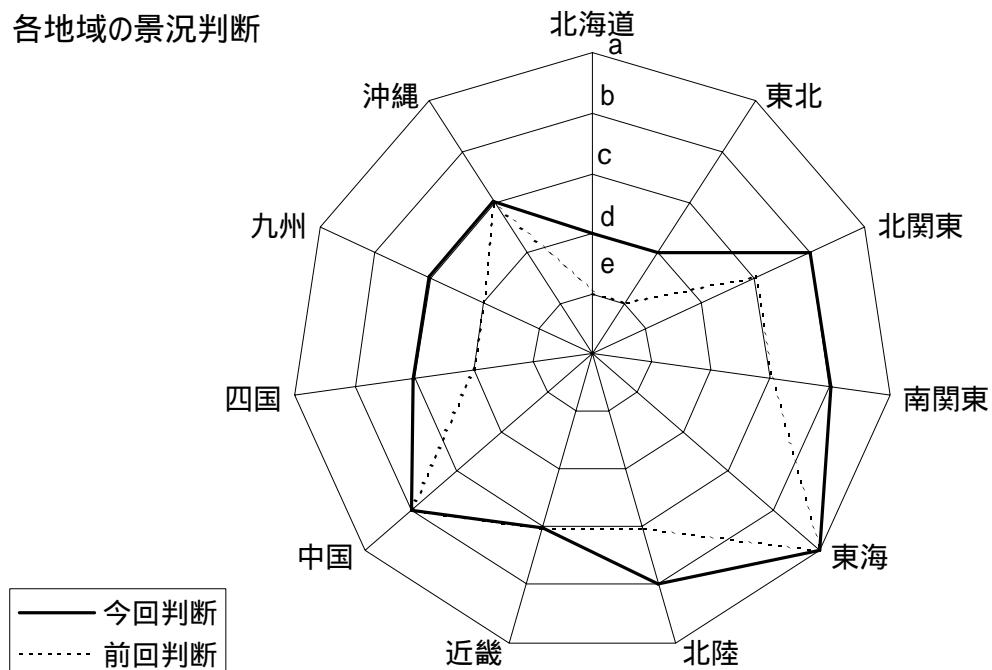
上方修正・・・7地域（北海道、東北、北関東、南関東、北陸、四国、九州）

下方修正・・・なし

各地域の景況判断は、北海道、東北、北関東、南関東では、鉱工業生産、個人消費、雇用情勢などを理由として、北陸では個人消費などを理由として、四国では、鉱工業生産などを理由として、九州では、鉱工業生産、個人消費などを理由として、それぞれ上方修正となった。

その他の4地域（東海、近畿、中国、沖縄）の景況判断については前回調査と同じである。

各地域の景況判断



- a: 力強く回復している
- b: 回復している
- c: 緩やかに回復している
- d: 持ち直している
回復の動きに一服感がみられる
弱いながらも回復の動きがみられる
- e: やや弱含んでいる

(2) 各地域の景況判断と主要変更点

		北海道	東北	北関東	南関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
景況判断	11月 (前回)	やや弱含んでいる	やや弱含んでいる	緩やかに回復している	緩やかに回復している	力強く回復している	緩やかに回復している	緩やかに回復している	回復している	持ち直している	弱いながらも回復の動きがみられる	緩やかに回復している
	2月 (今回)	持ち直している	持ち直している	回復している	回復している	力強く回復している	回復している	緩やかに回復している	回復している	緩やかに回復している	緩やかに回復している	緩やかに回復している
鉱工業生産 (沖縄は観光)	11月	おおむね横ばい	おおむね横ばい	おおむね横ばい	おおむね横ばい	堅調に増加	緩やかに増加	おおむね横ばい	堅調に推移	おおむね横ばい	おおむね横ばい	増加
	2月	緩やかに増加	緩やかに増加	緩やかに増加	緩やかに増加	堅調に増加	緩やかに増加	おおむね横ばい	堅調に推移	緩やかに増加	緩やかに増加	堅調に増加
個人消費	11月	やや弱含んでいる	やや弱含んでいる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	緩やかに回復している	おおむね横ばい	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる
	2月	おおむね横ばい	おおむね横ばい	持ち直している	緩やかに回復している	緩やかに回復している	持ち直しの動きがみられる	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きがみられる	持ち直している	持ち直している
雇用情勢	11月	依然として厳しい状況であり、持ち直しの動きが緩やかになっている	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている	改善している	改善している	着実に改善している	着実に改善している	依然として厳しい状況だが、改善が続いている	改善している	持ち直しの動きが続いている	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きも強い	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている
	2月	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きがみられる	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きも強い	着実に改善している	着実に改善している	着実に改善している	着実に改善している	依然として厳しい状況だが、改善が続いている	着実に改善している	持ち直しの動きが続いている	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きも強い	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている

(注) は上方修正、 は変更なし、 は下方修正を表す。

2 トピック

<トピック1> 地域の中小企業へも波及しつつある景気回復

今回の景気回復は地域の中小企業にどれくらい波及しているのだろうか。

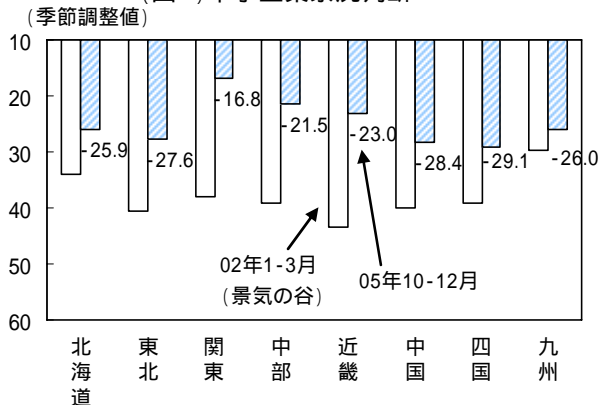
景況判断DIを今回の景気局面の谷からみると、水準は未だ水面下にあるものの全地域で改善している。前回の回復局面の山(2000年10-12月)と比較して、関東や近畿をはじめ5地域ですでに前回の景気の山を上回っている(図1)。

○設備投資をみると、関東、北九州をはじめ7地域で前年度を上回っている(図2)。

雇用動向をみると、従業員数BSIをみると全地域で人手不足感がみられている(図3)。景気ウォッチャー調査では、「中小企業にも日が当たり出し、強気の会社が多くなってきている。設備投資を計画している企業も多い(東北=電気機械製造業)」や「新卒の採用活動を未定としていた中小企業も、欠員補充ほかの理由で採用活動を始めた(中国=学校[短期大学])」などのコメントが見られる(表4)。

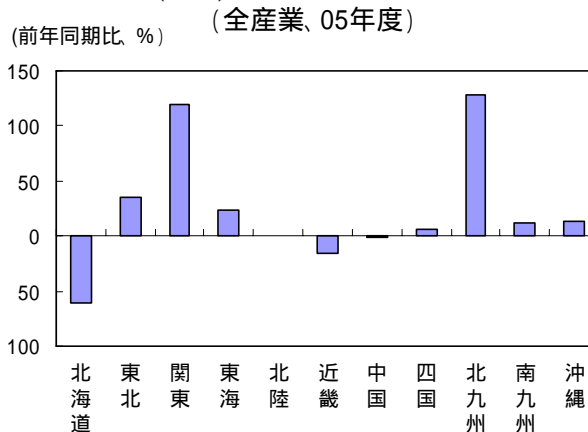
以上のように地域の中小企業をみると、ばらつきはあるものの景気回復が波及しつつあると言える。

(図1) 中小企業景況判断DI



2000年 10-12月	全産業	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
		-26.6	-25.4	-22.0	-25.8	-30.6	-29.8	-27.1	-24.3

(図2) 各地域の設備投資額

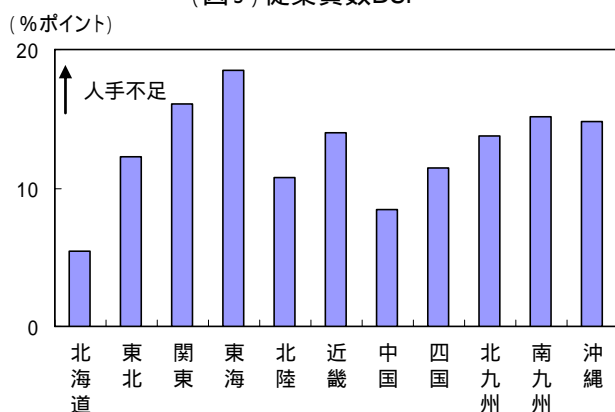


(表4) 中小企業に関する代表的コメント

(=やや良、 =不変、 =やや悪)

東北	12月	電気機械製造業	中小企業にも日が当たり出し、強気の会社が多くなってきている。設備投資を計画している企業も多い。
中国	12月	学校[短期大学]	新卒の採用活動を未定としていた中小企業も、欠員補充ほかの理由で採用活動を始めた。
東海	12月	公認会計士	中小企業のボーナス支給額は、前期と比べて横ばいしないし微増であり、あまり変化がない。
南関東	12月	住宅販売会社	大企業と中小企業の格差がどんどん開いてきている。
東海	1月	出版・印刷・同関連産業	中小企業経営者の話でも、特に製造業の受注量が激増している。
九州	1月	金融業	製造業、特に半導体関連の下請け中小企業や小売業において、設備投資の資金需要がある。
近畿	1月	学校[大学]	採用予定数が確保できていない中小零細企業が多い。
東海	1月	公認会計士	原材料費の高騰や人手不足等のため中小企業の業績は伸びていない。

(図3) 従業員数BSI



(出所)図1：中小企業基盤整備機構「中小企業景況調査」により作成。

図2、3：各財務局「法人企業景気予測調査(05年10-12月期)」により作成。BSIは「不足気味」と回答した構成比から「過剰気味」と回答した構成比を引いた値。

表4：内閣府「景気ウォッチャー調査」により作成。

<トピック2> 寒波・大雪が地域の消費へ与えた影響

今年の寒波・大雪は、各地域の消費にどのような影響を与えたのか、プラス、マイナス両面から考察する。

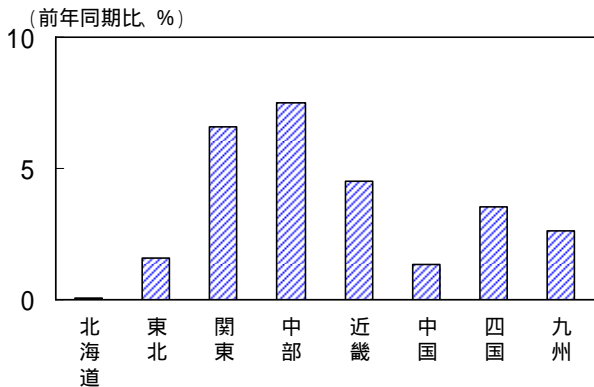
プラス面としては、衣料品の売行きが特に好調なことが挙げられる。11～12月の売上をみると、全地域で前年を上回っている(図1)。また、景気ウォッチャーからは、「防寒物を中心に服飾、雑貨の動きが好調(東海=百貨店)」「例年より寒く、暖房機器の動きも活発(中国=家電量販店)」「(表3)とのコメントが寄せられており、冬物商品が消費を活性化させていることがうかがえる。

一方で、暖房費の家計への負担も挙げられる。灯油価格は、全地域で大幅に上昇しているが(図2) 国民生活モニター調査をみると、平年より灯油が値上がりしたと感じつつも、12、1月の間で購入を増やしたと回答したモニターが半数以上にのぼる。

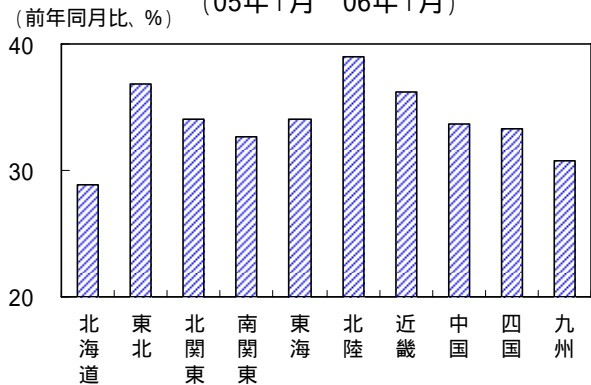
また、「大雪の影響で一番の稼ぎ時に宿泊キャンセルが続いている(北陸=観光型旅館)」「降雪による客足への影響と、寒いなか防寒物への需要はあるもののコートの生産不足による売り逃しが多い(東北=百貨店)」「(表3)などのコメントもみられる。

○寒波・大雪は消費を一時的に押し上げたに過ぎないとの見方もあるが、景気ウォッチャー調査の先行き判断DIをみると全地域で横ばいを示す50を上回っており、消費の先行きに対する期待感が強いことが示されている(図4)。

(図1) 11～12月の衣料品販売額



(図2) 各地で上昇する灯油価格 (05年1月 06年1月)



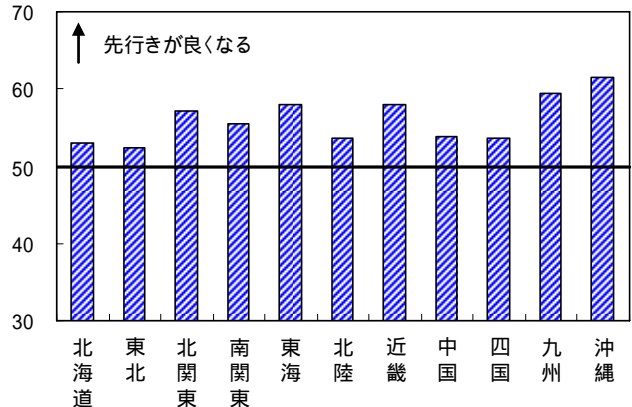
(表3) 大雪・寒波に関する代表的コメント

(= 良、 = やや良、 = 不変、 = やや悪)

地域	時期	店舗	コメント
中国	12月	家電量販店	例年より寒く、暖房機器の動きも活発。
北関東	12月	スーパー	防寒衣料・用品が好調に推移。鍋物商材の動きも好調。
中国	12月	百貨店	カシミア等の高単価ウールコートが久しぶりに良く売れている。
北陸	12月	観光型旅館	大雪の影響で一番の稼ぎ時に宿泊キャンセルが続いている。
北陸	12月	テーマパーク	久しぶりの大雪で、入場者数は前年比2ケタ近く減少。
東海	1月	百貨店	防寒物を中心に服飾、雑貨の動きが好調。
東北	1月	百貨店	降雪による客足への影響と、寒いなか防寒物への需要はあるもののコートの生産不足による売り逃しが多い。
南関東	1月	スーパー	大寒波の影響で、煮物、鍋物等のホットメニューの動きが良く、客単価が多少回復した。
南関東	1月	旅行代理店	大雪による航空や鉄道の運行中止や、そのことを理由とする客からのキャンセルなどで、減収となっている。

地域	北海道	東北	関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
家計に占める灯油の割合 (%)	2.96	2.20	0.51	0.57	1.30	0.42	0.83	0.73	0.74	0.37

(図4) 景気ウォッチャー調査 (先行き判断DI、家計部門)



(出所) 図1：経済産業省「商業販売統計」により作成。九州に沖縄を含む。店舗調整前。

図2：(財)石油情報センター「給油所石油製品市況調査」により作成。店頭価格。

「家計に占める灯油の割合」は総務省「家計調査」により作成。02年～05年の冬季(12～2月)中の消費支出に占める灯油支出の単純平均。

表3、図4：内閣府「景気ウォッチャー調査(06年1月調査)」により作成。